

# 第 91 回大腸癌研究会 家族性大腸癌委員会

## 議事録（案）

- 日時：令和 1 年 7 月 4 日（木）10:00～11:00
- 場所：浜松町コンベンションホール、5 階、メインホール B
- 出席者：  
〔委員長〕 富田尚裕  
〔委員〕 赤木 究, 石岡千加史(代 高橋雅信), 石川敏昭, 石川秀樹(代 武藤倫弘), 石丸 啓, 上野秀樹, 隈元謙介, 小泉浩一, 小林宏寿, 小森康司, 坂本一博, 菅野康吉, 関根茂樹, 竹内洋司, 田中敏明, 田中屋宏爾, 田村和朗, 千野晶子, 問山裕二, 中島 健, 長谷川博俊, 檜井孝夫, 平田敬治(代 永田 淳), 松原長秀, 松本主之, 三口真司, 宮倉安幸, 三代雅明, 山口達郎, 山田岳史, 山田真善, 山野智基(事務局、担当)  
〔オブザーバー〕 須並英二  
〔同行・その他〕 石田文生, 木下敬史, 河野光康, 神山篤史, 佐々木和人, 須藤 剛, 高雄美里, 高雄暁成, 高島順平, 高橋 玄, 豊島 明, 長壽寿矢, 永田 健, 中根浩幸, 根本大樹, 濱田聖暁, 藤川裕人, 前川 聡, 山寺勝人, 吉岡康多

### ●審議・報告事項

1. 前回議事録の確認（富田委員長）
2. 過去の共同研究に関する論文作成の状況
  - ・FAP 関連：石田文生先生担当。共著者に論文初稿を配布、内容確認依頼中。（大腸肛門病学会の英文誌 Journal of the Anus, Rectum and Colon (JARC)に投稿予定）
  - ・Lynch 関連：医科研の古川洋一先生担当。共著者に論文初稿を配布、内容確認依頼中。（人類遺伝学会の英文誌、Journal of Human Genetics へ投稿予定）。
3. 新しい臨床研究
  - ① 『家族性大腸腺腫症(FAP)に関する後方視的多施設共同二次研究』  
山口達郎先生より説明。  
2019/3/13 参加施設を追加したプロトコール改訂も大腸癌研究会倫理審査委員会より承認。参加施設にプロトコール送付（IRB 申請依頼）。  
2019/5/15：参加施設に入力用ファイル送付。参加施設 IRB 申請再度依頼。  
2019/7/4: 入力終了は 1 施設のみ（都立駒込病院）。1 例に 20～30 分掛かる。  
**2019/9 月末：入力締め切り（一次研究より手術治療以外の症例も入れるので、登録症例数は増える）。**
  - ② 『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』  
田中屋宏爾先生より説明  
IRB 承認は 2 施設のみ。目標登録数：200 例。1 例に 30 分～数時間掛かる（治療期

間による)。

#### **症例登録締め切り：2019年12月末**

データ集積後の論文化タイトル(案)の提示あり、来年度論文投稿を目指す。

登録症例数によって論文担当者を決める予定。論文化タイトル(案)は以下。

- ①臨床病理学的特徴、②異時性大腸がんの頻度、③未発症者、腺腫／癌の発生リスク、④遺伝子バリエーション別腺腫／癌の発生リスク、⑤色素・特殊光観察の有用性、⑥年代別の差(頻度・形態)、⑦発生部位に依る比較、⑧大腸外関連腫瘍の発生状況
- 今後は前向き研究も行いたい(下部消化管内視鏡検査、上部消化管内視鏡検査)

(質問)

- ①「前向きの際の内視鏡治療の規準は？」→「切除が基本と考えている。」
- ②「症例数が非常に多いが登録は全例か？」→「出来る限り登録して頂きたい。」

#### 4. 遺伝性大腸癌診療ガイドライン2020年版(改訂版)作成について

- ①ガイドライン作成委員会のメンバーに患者会委員を追加することとし、ご本人の承諾、および杉原会長のご承認も得て、関西FAP患者会のハーモニーラインの代表、土井悟氏を追加した。
- ②総論(隈元先生)：FAP/Lynchの遺伝的バックグラウンドを含めて説明し、他の遺伝性大腸疾患についても説明する。スクリーニングについてもチャートを作成し使い易いようにする予定。
- ③FAP関連(山口先生)：CQは11個作成。2019年2月に原案作成。外科学会・消化器病学会で説明し、現在担当委員が第1案作成(11個中の10個終了)。
- ④Lynch関連(田中屋先生)：CQは12個有り。担当者が第1案作成(12個中の5個終了)。

#### 5. 関連学会・研究会の案内(石川先生の代理、武藤倫弘先生より)

前回のアナウンスの予定通り、日本家族性大腸腺腫症研究会が9月20日(金)に大阪国際がんセンターにて開催予定。

(文責：富田尚裕・山野智基)